

さいたま市立大宮北中学校

# 学校だより 3月号

令和5年3月1日(水)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな  
実践力のある生徒』  
たしかな学力  
ゆたかな心情  
たくましい身体

## 「旅立ちの日に」と「合唱の北中」

校長 とみた ひでお  
富田 英雄

このところ、天気の変り変わりが早くなり、暖かい日も増えてきました。この時期の穏やかに降る雨のことを「木の芽起こしの雨」といい、植物の芽吹きを促す貴重な雨という意味があるそうです。一雨ごとに春の訪れを感じる季節になりました。

先月は、2年生が2月6日(月)から3日間、福島県南会津町で少年自然の教室を実施しました。実に3年ぶりの開催です。3日間、天気にも恵まれ、スキー実習や雪国体験などを行いました。生徒からは「最初はスキー板をはいても立つことができなかつたけど、そこから頑張つて滑ることができて、うれしかった」、「頂上まで行ったときの景色がとてもきれいだった」、「かんじき体験はおもしろかつたけど大変だった」など感想が聞かれました。3日間の自然体験活動を通して、自然の恵みの豊かさや厳しさなど様々なことを学んでくれたと思っています。また、期間中、大きな怪我や発熱等の体調不良者が出なかつたことが何よりです。保護者の皆様におかれましては、出発前から生徒、御家族の体調管理に御協力いただき、本当にありがとうございました。

さて、3月15日(水)は卒業式です。今年の3年生は、感染症の影響で入学式ができませんでした。それだけに、格別の思いで卒業式を迎えるのではないのでしょうか。今年は、感染症対策も緩和され、校歌、式歌を3年ぶりに式場で歌う予定です。式歌は、「旅立ちの日に」です。3年生が小学校の卒業式で歌う予定だった曲で、ぜひ歌いたいという声も多かつたようです。この曲は、今から32年前、秩父市内のある中学校でつくられました。学校を立て直すため、歌声の響く学校を目指して合唱に力を入れて取り組んだ先生方の手作りの歌です。作詞は、当時の校長先生、作曲は音楽の先生です。取組を始めて3年目、生徒に感謝の意を込めてつくり、3年生を送る会で先生方が披露したものだそうです。その後、近くの学校で歌われるようになり、やがて全国に広まりました。現在、秩父ミュージックパーク内の「旅立ちの丘」には、『旅立ちの日に』の歌碑が設置されていますが、そこから見渡す風景は、まさに「♪白い光の中に、山なみは萌えて♪」そのものです。

一方、「旅立ちの日に」が誕生する10年以上前、すでに合唱に力を入れ、歌声の響く学校を目指していた学校があります。大宮北中、我らが学校です。「合唱の北中」の始まりでもあつた時期ではないかとも思っています。学校の記念誌を読むと、生徒、教員が合唱を通して「団結」していく様子が記されており、当時の熱いエネルギーが伝わってきました。伝統の「卒業生合唱」(全員ステージで歌う)が始まつたのもこの時期です。そして、「合唱の北中」の伝統は何十年も受け継がれてきました。感染対策上、今年は「卒業生合唱」はできませんが、3年生には、制限や制約が多い中でもみんなで協力した3年間の思い出、コロナ禍の危機を乗り越え「合唱の北中」を守り、新たな伝統を築いた自信を胸に、校歌、式歌「旅立ちの日に」を歌ってほしいと思っています。